

川崎市立 日本民家園

日本民家園だより 31号 平成6年10月1日 編集・発行 川崎市立日本民家園

心の交流へ

—日本民家園ボランティア発足—

古民家の中から「いらっしゃいませ」「ようこそ」などと声をかけられたなら、見学に来た方も「おはようございます」とか「こんにちわ」というような会話がはずみます。

日本民家園は、古民家や民具を展示している博物館ですが、そこに人がいて、見学者を迎えてくれるのであれば、見学者の心がなごむでしょう。

日本民家園では、このように「心」のサービスを考え、日本民家園ボランティア養成講座(8/5~26の各金曜日)を開くことになり募集しました。定員30名のところ137名の応募者があり、関心の高さが伺われます。結局、厳正な抽選のもと、50名の方々に講座を受けていただき、全員が9月1日から「炉端の会」という名称をもって活動を始めました。

応募してくれた方のはがきの中には、いろいろな意見等を書かれた方が、数多くいますので、一、二ご紹介します。

麻生区の男性(麻生区に居住し、12年になります。何かお役に立ちたいと考えていました。勤務の都合で、土・日曜日以外でも良いです。)

麻生区の女性(主婦です。子供も手が離れ何かボランティアをと思っていました。)

なかには、日本民家園の「市民ボランティア」



囲炉裏で火を焚くボランティアの方々

になりたい。と言って応募された方もいます。

ボランティア活動の内容は、当面古民家の囲炉裏で火を焚くことから始まり、床や畳の清掃等です。

ボランティアの人たちは、早くも「古民家や民具の解説をしたい」と言ってハリキッています。

日本建築学会賞受賞 第三部「業績」

日本建築学会賞は、日本建築界でもっとも名誉ある賞です。日本民家園は、第三部「業績」で5月30日に受賞いたしました。表彰業績は「日本民家園における近世民家の体系的収集保存、公開と環境整備」についての評価でした。

今回の受賞については、横浜国立大学工学部建築学教室の青木博文主任教授、(国)文化財保護審議会委員であります伊藤鄭爾先生、文化財建造物保存協会の吉田靖調査役の先生方のご推薦をいただき、日本建築学会賞選考委員会で決まったわけです。3人の先生方の推薦書を簡単にご紹介しますと、次のようになります。

1. 日本民家園は、質の高い古民家を移築、復原し、学術的に評価されている。また周辺環境に配慮した野外博物館である。



副賞及び賞状

2. 民俗資料等の収集、展示については、体系的に収集し、展示している。また、体験学習等で有効に活用している。

3. 運営、管理面等でも、日本民家園協議会を設置し、博物館として優れた活動をしている。以上のように、ご推薦をいただき受賞しました。

掘立て柱の木小屋 移築復原しました

川崎市多摩区生田に建てられていた掘立て柱の木小屋が日本民家園に寄付されました。この小屋には、主として燃料としての薪、田や畑の堆肥として使用するクズ(落ち葉)等を入れたといいます。このような掘立て柱という珍しい建築構法を有した小屋は、市域では見られなくなってきており、また現在の日本民家園には掘立て柱の建物が存在しないという意味もふくめて、これを受入れ移築復原いたしました。

名称 掘立て柱の木小屋

構造 掘立切妻造、下屋付、杉皮葺

復原平面積 14.32㎡ (4.33坪)

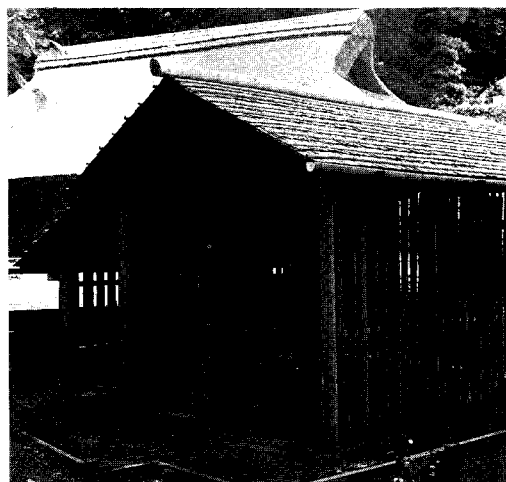
建築年代 20世紀初頭(大正末～昭和初)

旧所在地 川崎市多摩区生田

旧所有者 松沢 薫

解体工事 平成5年11月25日～27日

復原工事 平成6年1月8日～20日



復原なった掘立て柱の木小屋

〈体験学習〉

伝統的方法で「麦の脱穀作業」 障害児学級の生徒

自らの手で作った麦を脱穀するという体験学習会が、7月14日、日本民家園の旧作田家で行われた。学習者は、7名の障害児学級の生徒。指導者は農業経験者の蓬田トメ子さんと井上学さんの2名、それに博物館実習生の7名も加わって、真夏の暑い日ではあったが、楽しい雰囲気のもとで行われた。以下はその生徒からのレポートです。

『日本民家園と麦のだっこく』

昨日は学校を9時に出て日本民家園に行きました。本館の展示室を出て、歩いていくとトンネルがあり、その先が作業場でした。そこには先生の他に、実習生が7人いて、1人ひとりについてくれました。僕には原口さんという女の实習生がついて、とてもやさしく教えてくれました。特によもぎ田先生は、とてもはっきりしていてよかったです。

実習生の原口さんと一緒に、麦をそろえて稲こきでひっぱりました。つぎに麦打ちで麦をたたきました。麦打ちは重たくて自分ひとりでは、力が足りませんでした。昼食のお弁当を食べたあと、今度は北村家の石うすで、こな引きをしました。

実さいの農具を使って作業をしましたが、今の人には機械にたよってしまいますが、昔の人はとても大変であったなと思いました。暑さも忘れて一生けんめいにガンバりました。』



麦の脱穀作業

フランスの女性にワラジづくり指導 民技会会員の井上学さん

日本民家園の旧太田家住宅で、わら細工の実演や指導を自主的に行っていた民具製作技術保存会会員の井上学さんに、東京都世田谷区の岩崎和夫さんからお礼の手紙と写真が届きました。わら細工が取り結ぶ国際交流の1つの例として、井上さんからこの手紙と写真を拝借ここに掲載させていただくことにしました。『前略 先日は娘のペンフレンドに少しでも、日本らしい所を見ていただこうと思い、民家園に出向きました。思いがけず井上様とお会いでき、彼女にすばらしいプレゼントをすることができました。一生の思い出に残ることと思います。どうぞこれからも奥様とともに、人々のために頑張ってください。お礼まで。写真を同封いたします。』(岩崎和夫)

『わらじをありがとうございました。うれしいです。わらじのつくりかたは、とてもおもしろかったです。おじさんへ 1994年5月6日』
ラリエール・エリザベット (フランス)



井上さんとエリザベットさん

会場案内

催事時間 10:00~15:00

古民家特別公開

床上公開

民家園体験学習会(旧江向家)

紙すき

10月2日~23日(日曜)

民家園年中行事展示(旧山田家)

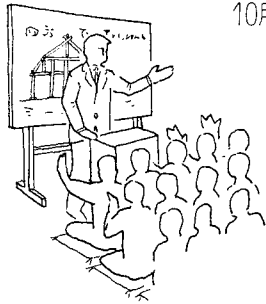
雪囲い展示

11月~3月

民家園講座(旧作田家)

「日本建築の歴史とその特質」

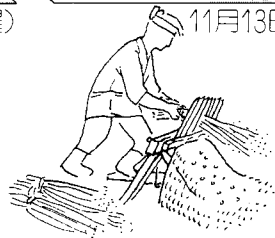
10月1日~29日(土曜)



民家園体験学習会(旧作田家)

農具使用体験

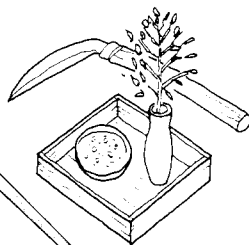
11月13日~20日(日曜)



民家園年中行事展示(旧北村家)

収穫祝い展示

11月



民家園舞台公演

民俗芸能公演

11月3日 雨天11月6日



芸能公演日
舞台入口

西口駐車場 ●

⑳旧船越の舞台

● 伝統工芸館

専修大学
川崎国際カントリークラブ

NO

行事民家番号



民家園主催行事



市民参加行事

洗

洗面所



他施設等

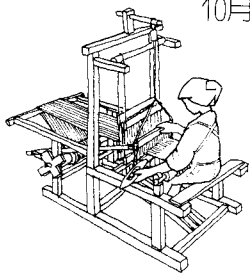
※各行事内容は、都合により変更となる場合があります。

小田急線向ヶ丘遊園駅

民家園体験学習会(旧原家)

草木染め・はた織り

10月2日~23日(日曜)



旧原家

● 東口駐車場

民家園入口

本館・受付
洗

民具製作技術保存会(旧原家)

はた織り

日本民俗建築学会(本館)

民家展

10月~11月

⑦旧江向家

洗

⑥旧佐々木家

⑧旧山田家

洗

洗

伝統技術技法を保存継承する会(旧佐々木家)

彫金・木彫・鉋けずり・尺八製管 市松人形作り・井戸さらい

10月~11月

村家

⑭旧太田家

洗

⑩旧作田家

神奈川紙すき研究会(旧山田家)

紙すき

11月12日・13日

● レストハウス

● プラネタリウム

● 青少年科学館

川崎文化財友の会(旧作田家)

お茶の会

11月12日

民具製作技術保存会(旧太田家)

民技会会員製作展示会

10月~11月

民具製作技術保存会(旧作田家)

わら細工

● 噴水

園出口

竹細工

民具製作技術保存会(旧北村家)

<実 習 生>

博物館実習生の受入れ

平成6年6月から9月までの4ヵ月間、日本民家園には10大学38名の若い博物館実習生が学んでいきました。今年は特に暑い夏、屋外作業の多い日本民家園の実習内容だけに、学生にとって、また指導する職員にとっても厳しいものがありました。

(1) 6月2日(木)～6月12日(日)

日本大学 荒井恵・本間和良・平野圭二
共立女子大学 黒沢美貴子

(2) 7月7日(木)～7月17日(日)

東京都立大学 嶋田智也
駒沢大学 原口志保・園原淳・高橋利江
小杉千賀子・鈴木秀彦・野本宏朗

(3) 8月4日(木)～8月14日(日)

専修大学 馬場武・亀井直美・沢村知子
富田貞子

日本女子大学 谷内和寿子・染谷かおり
有村恭子・麻原清美

立教大学 篠崎勝美

(4) 9月1日(木)～9月11日(日)

日本大学 井手誠
日本女子大学 河合桂・窪田紀子・
三代尊子・長峰陽子・清水絵美子

御茶の水女子大学 福田千絵

鶴見大学 平井千絵

(5) 9月14日(木)～9月24日(日)

東海大学 湊大介・外岡明子・金井誠・椿卓仁
佐川七生・広瀬裕介・大川幸一
鈴木光太郎・和田尚馬・佐藤真紀子

実習後の一言

お陰様で更に力持ちになりました。学芸員は机に向かって仕事をするというイメージが強かったのですが、ここでは体力もかなりいるということがわかりました。(日本大学・荒井恵)

昨年、学校で学んだ学芸員と実際の学芸員とは大きな違いがあり、とても理論だけでは処理できないということがわかりました。

(共立女子大学・黒沢美貴子)

野外博物館の民家園ならではの实習、数々のことが経験できて良かったです。これで戦争がおきても、生き残る技術や知識を持つ人間になれたと思います。(駒沢大学・小杉千賀子)

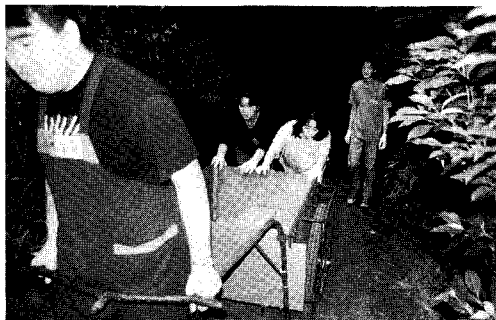
毎日、園路を踏み締めていくうちに、民家に愛着が湧いてきました。毎日の作業で、ハワイに行ったように日焼けもしました。民家園の体験は、本当に体にしみこんだような気がします。

(日本女子大学・長峰陽子)

暑い熱いあついの連続する実習期間と内容でしたが、現実の世界から抜け出した、夢のような感じのする楽しい10日間でもありました。民家園で作ったゾウリは家の玄関の福の神となっています。(日本女子大学・谷内和寿子)

いろいろと苦労はしたけれども、それ以上の面白い体験と充実した実習でした。がさつな人間なのでご迷惑をおかけしたとは思いますが、また見学に行きますのでよろしく。

(東海大学・鈴木光太郎)



リヤカーでの資料運搬作業



小学生に縄なえを指導する実習生

石造物が2つ 仲間入り

8月、2つの石造物が園内に移築されました。1基はやや風化が進み、尊像の識別は困難ですが、菩薩形像を半肉彫りし、旧所有者が弁財天と呼んでいるもの。紀年銘は欠損していますが江戸時代中期頃の造立と推定されます。

1基は家形石祀で、多少亀裂が入っていますがほぼ完形で銘文はありません。旧所有者によりますと、昔、子供たちが文字の上達を願い、古筆を奉納したといえますから、筆塚的な性格があったようです。

8月9日炎天下、職員と博物館実習生が総出で造成作業を行い、移築は無事完了しました。

旧所在地・川崎市麻生区白鳥

旧所有者・中山順子さん

移築場所・㊦清宮家の傍ら



左・弁財天 右・家形右祀

総合防災訓練を実施

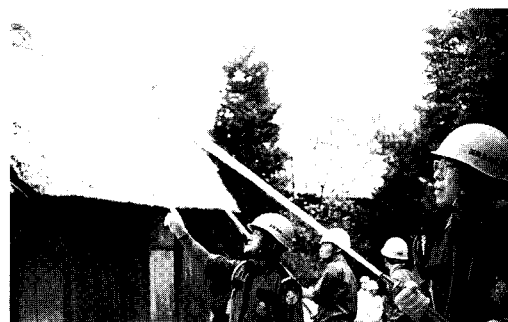
昼間、入園者が多数いる中で、大きな地震が発生した。その後、旧作田家住宅で自動火災報知器が鳴り、漏電により火災が発生した。また、旧三澤家住宅の前で、屋根から石が落ちてきて入園者が負傷した。

以上のような想定で9月10日午前9時15分から9時55分の予定で防災訓練を実施した。

職員、警備員及び清掃員等が一体となった、自衛消防隊の訓練が展開された。

当日は、多摩消防署の指導のもと、消防署本隊も出動した合同訓練となった。

避難誘導をする人、非常口を開けに行く人、負傷者を安全な所に運ぶ人、放水する人等それぞれの任務を果たし、緊張の中に終了した。



防災訓練風景

舞 台 公 演

11月3日(文化の日) 雨天延期11月6日(日)

第1部 午後1時～2時 江戸の里神楽『天之磐扉』

国指定重要無形民俗文化財

山本社中 江戸の里神楽

代表者 山本頼信

第2部 午後2時～3時 囃子曲持

川崎市指定無形民俗文化財

新城郷土芸能囃子曲持保存会

代表者 松原重代

と き 午後1時～3時

観 覧 無 料

と ころ 川崎市立日本民家園

農村歌舞伎舞台

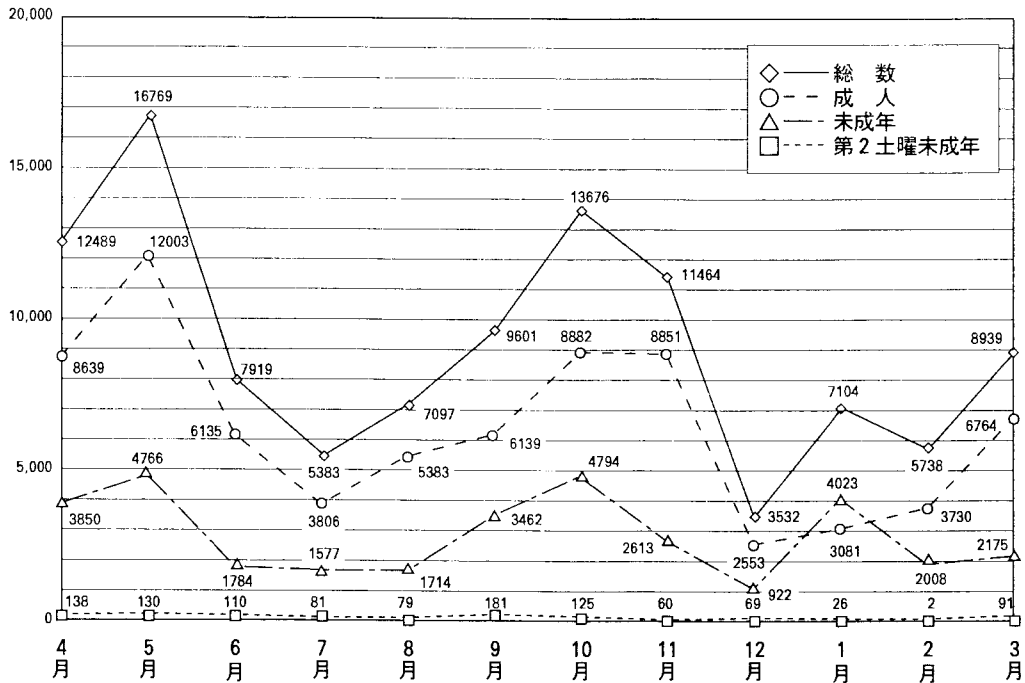
平成5年度 入園者統計

平成5年度の入園者数は、4年度とほぼ横ばいに終わっております。

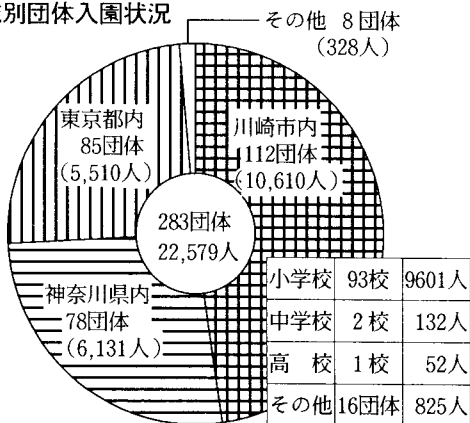
野外博物館のため、雨や風の気象状況により入園者数が左右され、昨年の夏は冷夏で雨の日が多く、入園者数の伸びがなかったものと考えられます。

平成6年度は、日本民家園講座を始め、体験学習等のソフト面の充実を図っており、増加するものと期待しております。

総数	109,654
成人	75,966
未成年・学生	33,688



地域別団体入園状況



編集後記



人の世は、お互いの助け合いでなりたっています。同じように、古民家をよく見ると曲がった柱に曲がった梁が、助け合って力を分けあって何百年もの人の生活のため、頑張っています。

これからの日本民家園を考える時、園とボランティア、そして見学者の心が一つになってこそ新しい展望が開けてくるものと思います。

(S,N)